

**弊社SRI業務に関して、新聞紙上において以下のように紹介されております。**

2006年6月21日（水）日経金融新聞 5面

**寄付ファンド続々 興銀第一ライフや新光 SRIアピール**

興銀第一ライフ・アセットマネジメントなど運用各社が純資産残高の一部を寄付に回す「寄付ファンド」を続々投入している。社会貢献している企業の株式を購入する通常の社会的責任投資（SRI）よりも、SRIのアピール効果が高いと判断した。寄付金を負担する分、運用会社の利益率は低下するが、長期的には収益の底上げにつながるとみている。興銀第一ライフは五月、尾瀬の自然保護団体に寄付する株式投信「尾瀬紀行」を設定した。毎年、純資産残高の約〇．二％を尾瀬の自然保護団体に寄付する。東邦銀行など尾瀬をまたぐ三県の地銀三行で販売しており、純資産残高は約十八億円。六月下旬からは販売会社に新潟証券を追加し、地域販売を拡大していく。新光投信は六月末から、環境問題に取り組む国内外の優良企業へ投資する株式ファンド「地球力」を設定する。米国のSRI評価会社、KLD社が選定した百銘柄で運用すると同時に、純資産残高の〇．〇五％を環境保護団体に寄付する。新光は「実際に寄付することで、SRIの取り組みを分かりやすくした」と狙いを説明する。日本投信は五月、香川県の企業に投資する「香川県応援ファンド」を設定。純資産残高の〇．一五％を地域の慈善団体などに寄付する。